

本人の発信を受けとめる

- ・良いと思う事でも、勝手な判断をして人に押し付けないこと。
- ・嫌だと思ふ事を強制しないこと。
- ・「支援の必要な人」は何に困っているか知る。
- ・不足している「支援内容」は？
- ・不足している「サービス・事業所」は何?を知る。
- ・選択できる配慮・工夫をすること。
- ・一人一人にあった環境を考え、配慮すること。
- ・一人一人を敬い、話を聴くこと。
- ・支援が必要な人について理解できる場がある。
- ・「困っている」と言える環境を整える。
- ・支援してくれる「人」「事業所」がわかる。
- ・支援内容等パッと見て必要なサービスが分かる、知れる資料がある。
- ・説明文がイラストだったり、マークでわかるようになる。
- ・わかりやすく説明すること。
- ・参加（出てきやすい）工夫をすること。
- ・危険な状況をそのままに見逃さないこと。
- ・少しの変化でもみつけたら、声をかけたり誰かに伝えられる。
- ・問題を放置しない、見て見ぬふりをしない。

地域で考える

- ・あたりまえの生活を尊重すること。
- ・話し、考えをしっかりと聞くこと。
- ・特別視することではなく、気にかけること。
- ・本人の話を聞いてくれる人、場所があるといい。
- ・障害者を理解してくれる住民。
- ・一緒に心配すること、考えること。
- ・不安を共有して話を聴き、やりたいことの実現を具体化すること。
- ・道に迷っても家に帰って来ることができる。
- ・周囲との顔がわかる見える関係性のある環境。
- ・近所の人に気軽に頼みごとができる。
- ・具体的な問題を解消できる協力をすること。
- ・困ってる人がいたら声をかけられる環境。
- ・自然に声をかけること。

困ったことを気軽に相談できる場所がある。

「困ってる」を聞いてくれる窓口がわかる。



困った時にかけつけられる家やそれがわかるマークがついているところがあると相談できる。

税金、社会保険料、介護保険料が安い。

暮らしを支える資源開発

- ・バリアフリー。
- ・病院に通いやすい（交通費がかからない）。
- ・冬でも買い物など外出がしやすい。
- ・日中、近所に行けたり来てくれる人がいてほしい。
- ・学校や職場への送迎をしてくれる。
- ・近くに買い物に行けるお店や手段。
- ・車の運転ができない人にとっての移手段。
- ・公民館24時間営業。
- ・駅にエレベーターがあれば移動しやすい。
- ・歩道は平らになっていると歩きやすい。
- ・行きたいところへ行きたい時にいけるといいな。

見えてきた地域の課題

- ・本人の「困ってる」発信が聞けていない。
- ・本人の生き方を聞けていない。
- ・障がい者理解ができていない。

見えてきた課題に対して、PJや部会で取り組みたい事

- ・体験型セミナー。
- ・先進地域の話聞く。